

1338

1338

蘆溝橋事件日誌

七日

午後十一時四十分 豐臺西方一邦里ノ蘆溝橋附近ニ於テ夜間演習中ノ豐臺駐屯聯隊所屬ノ我軍一部隊ハ第二十九軍第三十七師ヲ治安部下ノ支那兵(約二ケ中隊)ヨリ蘆溝橋部隊及同地北方ノ龍王廟ノ二方面ヨリ不法射撃ヲ受ケ演習ヲ中止豐臺殘存部隊ト共ニ蘆溝橋支那兵營附近相當ノ距離ノ地點ニ集結

八日

午前三時半 日支調査員ヲ北平ヨリ現地ニ急派
五時廿分 支那兵ヨリ再ヒ射撃
六時 戰闘一時中止
七時半 蘆溝橋部隊(馮治安)ハ白旗ヲ掲ケ射撃ヲ停止セルモ長辛店部隊ハ之ヲ繼續
十一時 蘆溝橋及龍王廟部隊ノ永定河西岸撤退方ヲ要求

外務省

12.2

SP. 306

52

(0153

午前十時 通州ヨリノ我應援部隊ハ朝陽門外ニ集結
午後二時 正陽門及和平門ヲ除キ北平内外ノ城門閉鎖セラル但シ市内ノ狀況概ネ平靜、西城方面ノ各大學生等相當興奮ノ模様

午後三時 寺平、秦折衝中ナリシモ先方ハ事態拾收ノ誠意ヲ示サス交渉決裂シ前線戰闘再開

我方要求ハ

(1) 日支兩軍共永定河ノ東西ニ撤退
(2) 實力ヲ以テ支那軍ノ武裝解除
北平臨時戒嚴令施行
秦ハ日本側攻勢ニ出テサレハ支那側ハ發砲セスト言明セルニ拘ラス我軍東岸ニ撤收ノ際不法ニモ射撃

午後八時
夕刻

外務省

12.2

SP. 306

53

(0154

1338

九日

午前三時

妥協成立シ支那軍午前五時右岸撤退ヲ約ス

午前五時

我軍行動中止

午前六時十分

交戦停止ノ命令不徹底

午前七時(同盟電)

我軍第一線ニ對シ猛射ヲ加ヘ砲聲聞ユ

日支官憲現地ニテ拾収ニ努メタル結果交戦停止(

軍側情報)

外務省

12.2

SP. 306

54

0155

1338

九日

九日午前臨時閣議開催今次事件ノ處理方針決定

今次事件ノ原因ハ全ク支那側ノ不法行為ニ基ク事

我方トシテハ事件不擴大ノ方針ヲ堅持スルコト

支那側ノ反省ニ依ル事態ノ圓滿收拾ヲ希望スルコト

若シモ支那側ニ反省ナク憂慮スヘキ事態ヲ招來スル危機ヲ見ル

ニ至ラハ我方トシテハ適切迅速ニ機宜ノ處置ヲ講スルコト

各閣僚ハ何時ニテモ臨時閣議ノ招集ニ應シ得ルヨウ待機

午後四時頃 蘆溝橋殘留支那部隊全部永定河以西ニ撤退、保安隊

百五十名之ニ代ル、我軍又豐臺ニ撤收

十日

午後五時

西苑(三十七師)方面ヨリ支那軍約百名蘆溝橋北方

七時

約四軒ノ地點ニ現レ迫撃砲ヲ以テ射撃
西北方ヨリ進撃シ來レル支那軍約百名ハ八日夜ノ協

外務省

12.7

SP. 306

55

0153

定ヲ破リ龍王廟ヲ占據我部隊ヲ攻撃
我方已ムナク應戰逆襲ニヨリ午後九時龍王廟占據
我方ト張允榮トノ間ニ十日夜ハ双方戰鬪行爲ニ出テ
サル事ニ了解成立

北平狀勢 各城門閉鎖
東北大学生、市民ト團結、便衣隊組織
蔣介石四個師 石家莊附近ニ北上
飛行隊全部ニ出動命令ノ由

十一日

我政府閣議開催、午後五時聲明發表戰況及裏面ノ交渉共ニ遠慮ヲ
示サス
午後四時 支那側ハ北平撤宵交渉ノ結果我軍ノ要求タル
(一)廿九軍代表者ノ陳謝
(二)事件責任者ノ處罰

外務省

(三)抗日分子ノ取締
(四)蘆溝橋ニ廿九軍ヲ入レサルコト
ノ四項ヲ即時無條件ニ承諾
同八時、書面ニ署名(張自忠、張允榮、松井特務機關長今井武官)
我方支那ノ重ネ々々ノ不信行爲ニ鑑ミ嚴重監視
蘆溝橋支那部隊ハ完全ニ撤退シ我部隊ハ豐臺ニ集結
山海關ニ集結中ノ關東軍部隊關内出動命令、朝鮮部隊ニ動員令
午後、支那兵一團二百名(西苑部隊)ハ南下シ來リ八寶山ニ本據ヲ
置キ其前線ハ衙門口及東新庄ニ及フ
八時 蘆溝橋ニアル廿九軍 參謀ヲ派遣シタルニ之ニ發砲
十時廿分 衙門口ノ支那軍龍王廟ニ進出
永定河西岸ノ支那軍、日本軍ト誤認射撃双方同志討

十二日

午前一時四十五分 東新庄附近ノ支那軍前線風聲ニ驚キ射撃、八

外務省

1338

寶山衙門口ノ部隊ニ波及迫撃砲ヲ以テ射撃
八寶山附近ノ支那軍ノ蘆溝橋北方二軒ノ地點ヨリ北平
蘆溝橋内鐵道沿線ニ進撃、永定河高地帯ノ我監視兵ニ
猛射、我軍隱忍自重應戰セス
平漢線方面ノ支那軍續々北上裝甲列車數個長辛店ニ到
着
北平市内狀況
一般ニ平靜、各城門全部開放又ハ半開、食料品ノ搬入
盛
平漢及平綏線ハ依然不遇
北寧線ハ豐臺ヨリノ歸還兵ヲ乗セ列車到着午前十時天
津ヨリ列車到着

外務省

12.7

SP. 306

58

015

1338

午後 支那軍一部ハ依然八寶山、衙門口一帯ニアリ撤退
ノ模様ナキ爲蘆溝橋北方高地殘留ノ我方監視隊ト對峙シ
居リ衝突ノ危險アル爲双方接衝ノ結果十二日夕刻ヲ期シ
支那側部隊ヲ西苑ニ復歸、我方モ後退、右實行ノ爲、馮
治安ハ其副師長ヲ我方ハ櫻井少佐ヲ現場ニ派遣
午後八時二十分 支那側ハ移動開始
九時 全部西苑ニ撤退ヲ完了
午前十時半(南京) 日高・王外交部長會談
「現地協定ノ忠實ナル履行ニ依リ事態ヲ收拾スルコト最
モ緊要ニ付南京政府ハ之ヲ阻害スルカ如キ乃至此際中央
軍ヲ北上セシムルコトハ却テ事件ヲ擴大シ破局ニ導ク所
以ナル旨ヲ強ク警告セリ
夕 南京政府態度
長江・黄河間ノ中央軍多數ニ動員令ヲ發ス

外務省

12.7

SP. 306

59

0160

1338

現地状況

十三日

午前十時

前線變化ナシ

午前

佛國大使館員「ラコスト」來訪北平、山海關列車運行確保ノ爲有效ナル手段ヲ取ル様申出アリ

〃 十一時

北平市内状況 朝陽門、廣安門、阜成門依然閉鎖
列車發車未タ停頓
在留邦人中鮮人、外域ヨリ内城ニ移動ヲ開始

午後

加藤、秦德純會談

支那軍撤退ニ拘ラス日本軍撤退セサルハ遺憾ト述ヘタルニ對シ

我軍前線部隊ハ其數極メテ少數ナリ、平靜ナラサレハ和ナシトノ申出アリ。中央軍北上ヲ遺憾ノ旨申傳フ、秦ヨリ時局收拾ニ斡旋依頼アリ、共產黨ノ暗躍

外務省

12.5

SP. 306

61

(0162

1338

隴海線平綏線ニ兵力集中、中央飛行隊ハ洛陽ヲ基地西安ヲ副基地

午後七時

日高・董科長會談

地方的協定ト雖モ南京ノ承認ヲ要求

外務省

12.7

SP. 306

60

(0161

1338

十四日

南京交渉

日高、吳震修往訪

- (一) 北平ノ戒嚴撤廢
- (二) 北寧鐵道ノ再開
- (三) 抑留セラレタル日本人ノ釋放ニ付陳覺生ヨリ實行命令濟ノ旨電話アリ

外務省

12.5

SP. 306

63

0164

1338

十四日

午前

午前十一時

類ナルモノアリ

我行軍部隊中彈藥等積載ノ四輛ノ「トラック」本隊ニ遅レ永定門外千米ノ地點ニ至リタル時二十九軍歩哨ヨリ射撃ヲ受ケ我方三、四名ノ慘死者ヲ出ス支那軍ニ不法抑留セラレタル鮮人六名我憲兵二名ハ十三日午後引渡ト決定

加藤、賈德耀ト會見

中央軍北上阻止ヲ嚴談ス

城門ハ大部分閉鎖

在留邦人中東城ニ移リタルモノ鮮人一六六〇、内地人十數名

軍ヨリ宋哲元ニ要求

(一) 二十九軍ハ絶對ニ日本軍ニ抵抗セス

外務省

12.5

SP. 306

62

0163